

# お知らせ

2018年5月18日

東北電力株式会社

## 今夏の需給見通しについて

今夏の電力需給対策については、電力広域的運営推進機関による需給検証を経て、本日、経済産業省の電力・ガス基本政策小委員会において取りまとめられました。

この取りまとめの中で、当社エリア（東北6県と新潟県）の今夏の需給見通しにつきましては、至近10カ年で最も猛暑となった年と同程度の気象条件が発生した場合（7・8月は2015年度並み、9月は2010年度並みの猛暑となった場合）であっても、エリア間の市場取引等を考慮し、7月は3.9%、8月は3.8%、9月は9.1%の予備率を確保できる見通しとなっております。

また、今夏の電力需給は、エリア間の市場取引の活用（連系線の活用）等により、全国の各エリアで電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3%を確保できる見通しであることから、同省からの節電要請はなされておられません。

当社といたしましては、震災以降、高稼働を続けている火力発電所の予期せぬトラブルによる停止や、猛暑による電力需要の急激な増加など、不測の事態が発生するリスクはあるものと考えております。引き続き緊張感を持って設備の運転・保守にあたり、安定供給に万全を期してまいります。

以上

### 【添付資料】

(参考) 当社エリアにおける今夏の需給見通しについて